

「落花生」生育情報（第3報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和5年9月12日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。

調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を予測するものではありません。

1 生育状況

1) 気象概況

7月以降、平均気温、日照時間ともに平年を上回って推移しました。降水量が7月中旬から8月上旬にかけてほとんど無く、平年を上回ったのは8月中旬のみでした。

2) 生育状況

作況調査ほ及び落花生研究室のほ場において、9月1日時点におけるさや実数、上さや数及び乾燥さや実重は平年と比較して多い傾向がみられます。ただし、十分なかん水を実施できなかったほ場では、6月中旬から7月下旬の干ばつにより、成熟不良な子実の割合が増えています。

表1 作況調査成績（9月1日調査）

品 種 名	年次	は種日	開花期	さや実数(個/m ²)		生 さや実重 (g/m ²)	乾燥 さや実重 (g/m ²)	未熟粒 歩合 (%)
				総さや数	(うち) 上さや数			
千葉半立	本年	5/26	7/5	272	141	875	213	15.7
	前年	5/27	7/6	229	146	855	228	0.7
	平年	5/26	7/8	219	82	723	171	3.7
ナカテユタカ	本年	5/17	6/26	252	170	782	357	0.0
	前年	5/24	6/30	268	189	902	357	2.0
	平年	5/21	7/2	211	114	649	251	1.6
Qなつつ (千葉P114号)	本年	6/1	7/6	196	132	708	245	2.0
	前年	6/4	7/7	254	196	922	297	3.0
	平年	6/4	7/10	258	123	872	241	2.0
おおまさり ネオ	本年	5/21	7/2	342	68	1485	294	4.2
	前年	5/23	7/1	300	56	1348	228	1.3
	平年	5/23	7/1	285	55	1327	238	1.8

* 本年値及び前年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取地区、「ナカテユタカ」は千葉・長生地区、「Qなつつ」は印旛・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

* 平年値は、圃場変更がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなつつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は過去2年間の平均値との比較値。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、1輪でも花が咲き始めた株がほ場全体の50%に達した日。

* 未熟粒歩合は、上さやに含まれる子実のうち、成熟不良な子実の割合。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、9月1日調査)

は種日	品 種 名	開花期	さや実数 (個/m ²)		生 さや実重 (g/m ²)	乾燥 さや実重 (g/m ²)	未熟粒 歩合 (%)	収穫期 目安
			総さや数	(うち) 上さや数				
5月19日 (標播)	千葉半立	6/29 (-1)	339 (122%)	131 (129%)	979 (105%)	235 (107%)	10.0 (+3.9)	10/2 (-1)
	ナカテユタカ	6/27 (-1)	369 (129%)	201 (164%)	977 (116%)	300 (109%)	10.0 (+5.0)	9/15 (-1)
	Qなつつ	6/29 (±0)	354 (129%)	155 (129%)	896 (101%)	239 (85%)	3.0 (+1.2)	9/17 (±0)
	おおまさりネオ	6/28 (±0)	367 (117%)	22 (56%)	1,226 (86%)	242 (92%)	10.0 (-3.3)	9/26 (±0)
6月8日 (晩播)	千葉半立	7/11 (-2)	251 (123%)	120 (156%)	857 (122%)	200 (140%)	7.0 (+2.4)	10/13 (-2)
	ナカテユタカ	7/8 (-3)	297 (126%)	204 (165%)	940 (116%)	295 (132%)	7.0 (+3.0)	9/26 (-3)
	Qなつつ	7/10 (-3)	256 (122%)	184 (166%)	826 (112%)	270 (136%)	2.0 (+0.4)	9/28 (-3)
	おおまさりネオ	7/10 (-2)	326 (152%)	9 (42%)	923 (86%)	179 (108%)	6.7 (+0.3)	10/8 (-2)

※栽植密度は5,128株/10a、無かん水条件。

カッコ内は平成30～令和4年の平均値対比を示す。

収穫期の目安は、開花期後の標準日数(全て煎莢用)で算出。

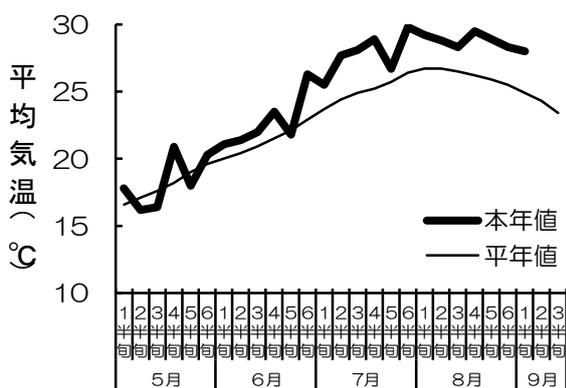


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

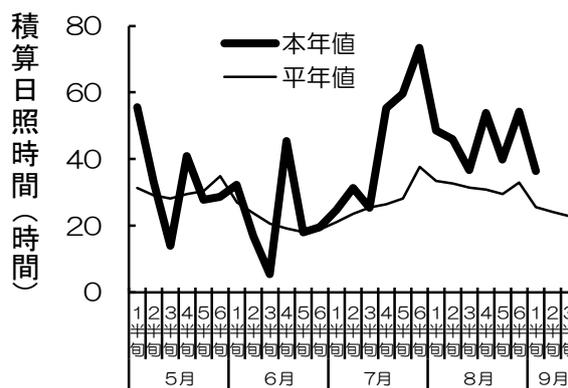


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

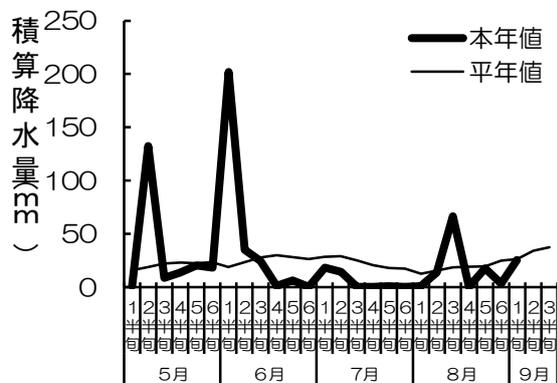


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

今年は遅まきの生育が平年よりもやや早く、収穫が早まる可能性もあるため、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。また、砂地の地域では収穫時期が早まる傾向にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「Qなつつ」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表3 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	Qなつつ	おおまさりネオ
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	80日後	85日後 (ゆで豆用)

表4 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安

	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月19日	6月29日	10月 2日
	6月 8日	7月11日	10月13日
ナカテユタカ	5月19日	6月27日	9月15日
	6月 8日	7月 8日	9月26日
Qなつつ	5月19日	6月29日	9月17日
	6月 8日	7月10日	9月28日
おおまさりネオ	5月19日	6月28日	9月21日
	6月 8日	7月10日	10月3日

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「Qなつつ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

＜方 法＞

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(3) 優良種子の確保

来年の落花生栽培のため、自家採種する種子を多めに確保し、発芽不良の原因となる幼芽褐変がないか、確認しておきましょう。

自家採種では、異型株・異型莢を除去するとともに、十分な乾燥により、カビを防ぎ、優良種子の確保に努めましょう。

また、自家採種を続けると品質や収量が低下する恐れがありますので、3～4年に1度、計画的に種子更新を行うことをお勧めします。

<幼芽褐変の見分け方>



健全種子



幼芽褐変 軽度
本葉が褐変
出芽率9割



幼芽褐変 中程度
胚軸上部が褐変
出芽率6割



幼芽褐変 重症
本葉全部と胚軸上部が褐変
出芽率1割

(4) 「栽培管理記録簿」の記入

「栽培管理記録簿」は、生産者自身が栽培管理や使用した肥料や農薬散布の状況を記録し、栽培管理を点検することにより、生産性や品質の向上に役立つものになるとともに、それらを開示することで、千葉ブランド落花生の「安全・安心」を消費者へアピールすることにもつながります。

出荷時に集荷業者に速やかに提出できるよう、もう一度内容を確認し、自分の保存用に控えを用意しておきましょう。

(5) 台風対策

大雨時の冠水を防ぐため、栽培中だけでなく掘取後の乾燥中においても、明渠を掘る等、圃場の排水対策を行いましょう。